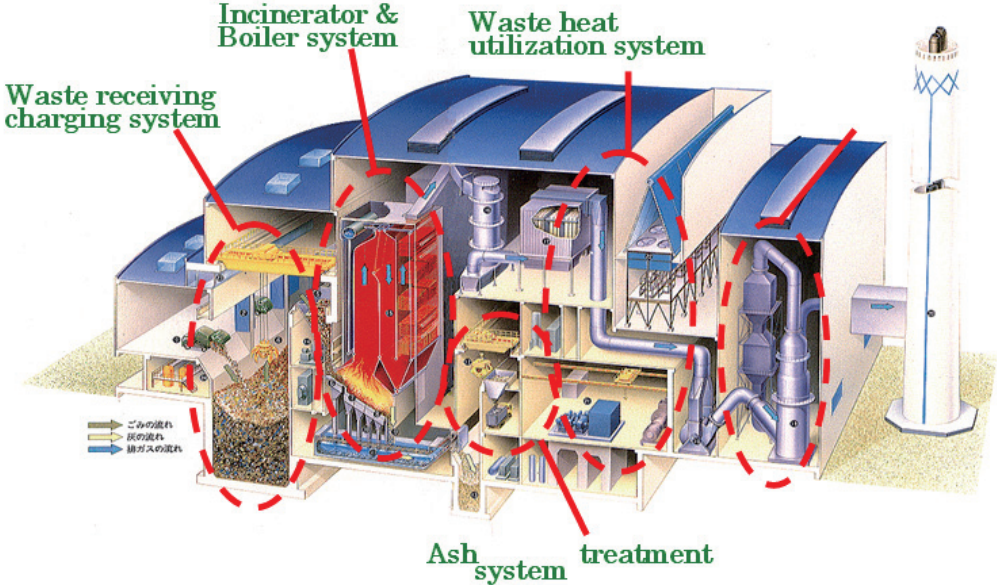


技術情報シート

1. 技術の名称	廃棄物焼却発電
2. 技術の内容	当社の焼却炉は、スイスより技術導入した焼却炉をベースにごみの性状に合わせ、独自に改良を重ねてきたものです。昭和 40 年、日本初の発電設備付焼却炉から始まり、現在まで日本を含め、世界で 428 施設の納入実績を持っています。ごみを大切なエネルギー源として、効率良く、有効に利用するための廃棄物焼却発電施設を提供し、化石燃料削減等、温暖化防止に貢献します。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 減容化、無害化、無臭化、エネルギーの有効利用 【技術の特長】 ・幅広いごみ質とごみ処理量(1 炉あたり最大 600t/日)に対応可能 ・特別な前処理設備が必要無く、ごみを直接焼却炉に投入可能 ・効果的な炉構造により、ごみを完全燃焼すると共にダイオキシン類等の発生を抑制可能 技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格  【実績】 ・428 施設(当社グループにおける世界の納入実績) 【価格又はその問い合わせ先】 下記 7.問合先窓口・担当者をご参照下さい。
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理(一般廃棄物)
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、食品・生ごみ、その他
③提供役務	プラント建設、技術供与
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	世界各国
6. 検索キーワード	廃棄物発電、ごみ焼却、ストーカ式焼却炉
7. 問合先窓口・担当者	日立造船 株式会社 エンジニアリング統括本部 環境技術企画部 藤本 佳憲